

しょうがいしゃさべつ かいしょう かん じょうれい けんとう おも ろんてん 障害者差別の解消に関する条例の検討における主な論点について

けんとうじこう
検討事項：

1 きほんりねん など
基本理念 等

2 とみんおよ じぎょうしゃ りかいそくしん
都民及び事業者の理解促進

3 じぎょうしゃ とりくみ すいしん
事業者による取組の推進

4 じょうほうほしょう すいしん
情報保障の推進

5 そうだん ふんそうかいけつ しく
相談・紛争解決の仕組み

※ 1～5 の検討事項ごとの主な論点と他府県条例における規定の例

1 きほんりねん など
基本理念 等

しゅようろんてん じょうれい と しめ きほんりねん
【主要論点①】 条例において都が示すべき基本理念とはどのようなものか

とちぎけん きほんりねん い か てん きてい
＜栃木県＞ 基本理念として以下の3点を規定

① 「すべての人の基本的^{ひと}人権^{きほんてきじんけん}の享有^{きょうゆう}」

② 「誤解^{ごかい}や偏見^{へんけん}に基づく^{もと}差別^{さべつ}の解消^{かいしょう}」

③ 「多様^{たよう}な主体^{しゅたい}の相互^{そうご}協力^{きょうりょく}による差別^{さべつ}の解消^{かいしょう}」

2 とみんおよ じぎょうしゃ りかいそくしん
都民及び事業者の理解促進

しゅようろんてん とみん じぎょうしゃ せきむ かんが
【主要論点②】 都民や事業者の責務^{せきむ}をどう考えるのか

いばらきけん けんみんおよ じぎょうしゃ つと い か てん きてい
＜茨城県＞ 県民及び事業者が努めるものとして以下の4点を規定

①「障害のある人の社会参加支援」

②「障害への理解を深め、差別解消等の施策への協力」

③「障害のある人等が支援を求めやすい環境の実現」

④「(障害のある人が) 自らの障害特性等について県民等に伝えて理解を得る」

3 事業者による取組の推進

しゅようろんてん たよう きぎょう しゅうせき と じぎょうしゃ とりくみしえん きてい
【主要論点③】 多様な企業が集積する都における事業者の取組支援をどのように規定
するか

さいたまけん きょうせいしゃかい すいしん こうせき みと ひょうしょう むねきてい
＜埼玉県＞ 共生社会の推進に功績のあると認められるものを表彰できる旨規定

とくしまけん けんみんおよ じぎょうしゃ とりくみ すす けんみん じぎょうしゃとう じはつてきかつどう そくしん
＜徳島県＞ 県民及び事業者の取組を進めるため、「県民、事業者等の自発的活動を促進
するための情報の提供、助言等」を県が行う旨規定

4 情報保障の推進

しゅようろんてん たよう しゅだん じょうほう しゅとく い しそつう すいしん いちづ
【主要論点④】 多様な手段による情報の取得や意思疎通の推進をどのように位置付け
るか

とくしまけん じょうほう しゅとく たい しえん せつ もう い か
＜徳島県＞ 「情報の取得、コミュニケーションに対する支援」として1節を設け、以下
を規定

① 情報の取得及び意思疎通における障壁の除去」

② 「障害のある人に配慮した情報発信」

③ 「意思疎通等の手段の普及」

④ 「意思疎通支援者の要請等」

⑤ 「災害時等の情報の確保」

＜神奈川県＞ ※手話言語条例

手話が意思疎通及び情報取得又は利用のための言語である旨定め、手話の普及等

に関する基本理念、県、県民、事業者の役割を規定

5 相談・紛争解決の仕組み

【主要論点⑤】 既存の相談窓口を踏まえた相談体制のあり方をどう考えるか

＜大阪府＞ 府に広域相談員を置くとした上で、その業務について、以下を規定

① 相談事案に対応する市町村の機関（相談機関）の事案解決を支援するための助言、

調査及び関係者間の調整」

② 「障害者等からの相談に応じ、相談機関と連携して必要な助言、調査及び関係者間の調整」

③ 「相談機関相互の連携の促進、相談事案にかかる情報の収集および分析」

【主要論点⑥】 実効性確保のあり方についてどう考えるか

＜千葉県＞ 「解決のための手続き」として1節を設け、以下を規定（概要）

① （地域相談員への）相談」

② 「助言及びあっせんの申し立て」・・知事に対して当事者、家族等が申し立てる

③ 「事実の調査」・・知事が行う

- ④ 「助言^{じょげん}及び^{およ}あつせん」・・知事^{ち じ}が調 整 委 員 会^{ちようせいいいんかい}（知事^{ち じ}の附 属 機 関^{ふぞくきかん}）に審 理^{しんり}を求 め る^{もと}
- ⑤ 「勧告^{かんこくとう}等」・・助言^{じょげん}又 是^{また}はあつせんに 従^{したが}わ ない場 合^{ばあい}、調 整 委 員 会^{ちようせいいいんかい}が 知事^{ち じ}に 対 して 差 別^{たい さべつ}
- の 解 消^{かいしょう}を 勧 告^{かんこく}
- ⑥ 「意 見^{いけん}の 聴 取^{ちようしゅ}」・・知事^{ち じ}は、勧 告^{かんこく}を 行 う 前^{おこな}に 意 見^{いけん}の 聴 取^{ちようしゅ}を 行 う^{おこな}
- ⑦ 「訴 訟^{そしょう}の 援 助^{えんじょ}」・・助言^{じょげん}又 是^{また}はあつせんの 審 理^{しんり}を 行 った 事 案^{おこな}に つい て、調 整 委 員 会^{じ あん}が 必 要^{ちようせい}と 認 め る と き は、費 用^{ひよう}の 貸 付 け 等^{かしつ}を 行 う^{とう おこな}
- ⑧ そ の 他^た（貸 付 金^{かしつけきん}の 返 還^{へんかん}、秘 密^{ひみつ}の 保 持^{ほ じ}）